2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	スポーツ科学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖生理学Ⅰ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	1年生	学期及び曜時限	後期	教室名	402
担 当 教 員	岡山　雄太	実務経験とその関連資格	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、はり師、きゅう師として野球やソフトボールのチームで帯同トレーナーとして活動中		

《授業科目における学習内容》

トレーナーやスポーツ指導者、また人々の健康に関わる者として必要となる人体の構造や機能について学習する。
また、それらの知識を踏まえて病気やケガのメカニズムを考察する。

《成績評価の方法と基準》

定期試験:70%
出席率:20%
小テスト:10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

配布プリント
コンプリートアナトミー(iPad用アプリ)

《授業外における学習方法》

毎回、授業の最初に練習問題を実施するので、前回までの授業内容を復習しておくこと。

《履修に当たっての留意点》

スポーツ医学で学ぶ内科的疾患や整形外科的疾患を理解する為に必要となる分野なので、しっかりと身につけてください。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人体の構造の概要を理解することができる。	配布プリント コンプリートアナトミー	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、人体の組織と器官の概要		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	細胞の構造や機能について理解することができる。	配布プリント コンプリートアナトミー	器官系の分類を理解しておく。
		各コマにおける授業予定	細胞の構造、機能、遺伝子など		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系の概要、口腔の構造を理解することができる。	配布プリント コンプリートアナトミー	細胞の基本構造を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	消化器系の全体像、口腔の構造、歯の構造、唾液腺		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	舌の構造、食道の構造、口腔内消化について理解することができる。	配布プリント コンプリートアナトミー	口腔の構造を復習しておく
		各コマにおける授業予定	舌の構造、舌乳頭、食道の構造と病気、口腔内消化		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	胃の構造と機能を理解することができる。	配布プリント コンプリートアナトミー	口腔および舌について復習しておく
		各コマにおける授業予定	胃の構造、胃液分泌		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	小腸の構造と機能を理解することができる。	配布プリント コンプリートアナトミー	胃の構造と機能の復習
		各コマにおける授業予定	小腸の構造、十二指腸の構造		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	小腸での消化について理解することができる。	配布プリント コンプリートアナトミー	小腸の構造の復習
		各コマにおける授業予定	小腸内での消化と吸収、栄養素の分解		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腸の構造と機能について理解することができる。	配布プリント コンプリートアナトミー	小腸内の消化について復習
		各コマにおける授業予定	大腸の構造と機能、腸内細菌の働き		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ここまでの理解度を確認する。肝臓の構造について理解することができる。	配布プリント コンプリートアナトミー	ここまでの範囲を復習しておく
		各コマにおける授業予定	小テスト、肝臓の構造		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	肝臓の構造と機能を理解することができる。	配布プリント コンプリートアナトミー	肝臓の構造を理解しておく
		各コマにおける授業予定	肝臓の働き、病気、門脈とつながる静脈の流れ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	膵臓の構造と機能、呼吸器系の概要について理解することができる。	配布プリント コンプリートアナトミー	肝臓の構造の復習
		各コマにおける授業予定	膵臓の構造と機能、呼吸器系の概要		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	鼻腔、咽頭、喉頭の構造と機能について理解することができる。	配布プリント コンプリートアナトミー	鼻の構造を調べておく。
		各コマにおける授業予定	鼻腔、咽頭の構造と機能、上気道炎の仕組み		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	気管、肺について理解することができる。	配布プリント コンプリートアナトミー	呼吸器系全体像を把握しておく。
		各コマにおける授業予定	気管、気管支、肺の構造と機能		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器の生理学について理解することができる。	配布プリント コンプリートアナトミー	呼吸器系全体像を把握しておく。
		各コマにおける授業予定	呼吸器の生理的作用、喘息の仕組み		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	本講義の内容についての理解度を確認することができる。	配布プリント	前期で学んだことを復習しておく。
		各コマにおける授業予定	まとめ		